

# 放課後等デイサービス自己評価表 (あいな園)

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善項目、工夫している点など
環境・体制等	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準を超えるスペースを確保しており、室内でも運動や遊びができる。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令に基づく配置数に加えて支援員を1名以上配置(常勤換算による算定)している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内はバリアフリー化されているが、玄関前の階段などの状態は十分とは言えないため、必要な配慮をして対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		ミーティング等で随時意見交換は行っているものの、業務改善に向けた認識が不十分な点もある。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意思等を把握し、業務改善につなげているか		○		今回行った保護者向け評価結果や送迎時の情報交換等を踏まえ、改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページや保護者へのお知らせで公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現時点では、自己評価や保護者評価により業務改善を進めていく。外部評価は、これらの状況をみて、今後検討していく。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			役職や勤務年数にあった研修を受講できるようにしている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			見学や契約時に保護者からニーズや課題を聞き取り、また児童は、支援を通じてニーズ等を抽出するよう努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントツールはあるが、十分に活用できていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員だけでなく、パート職員の意見も取り入れるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に合わせての行事計画を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		雨天時の活動内容をもう少し充実させる必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の特性を踏まえ、支援内容を計画化している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日始業時に打ち合わせを行い、活動や支援の流れ、役割分担等について、確認や情報交換を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に職員間で振り返りを行い、情報共有している。送迎等で時間がない場合には、翌日の打ち合わせで共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			利用者ごとに支援の内容を記録している。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に1回以上モニタリングと会議を行い、計画の見直しの必要性について判断している。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			利用者が意欲的に関われる遊びや創作活動、集団生活等を通じて、日常生活動作や自立生活につながる支援に努めている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本的に児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			迎えに行った際に、先生と情報交換を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	現時点では、対象となるケースはない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援センター等と必要に応じて情報共有及び相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	現時点では、対象となるケースはない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			外部機関が主催する研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	利用者の状況を見ながら、必要に応じて検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			障害児部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時における保護者との情報交換等を通じて、共通理解ができるよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者向けの研修会等については、今後、保護者の意向を確認したい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			施設内に掲出するとともに、利用契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば、その都度対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現時点では、保護者会は組織していない。今回の保護者向け評価においても組織化を求める声は多くなかったが、今後、保護者の意向を確認したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当者や責任者等の体制を整備するとともに、契約時に説明を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	保護者への活動概要や行事予定等の情報発信については、今後、検討していきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			契約時に個人情報の取り扱いについて説明を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時や連絡帳を活用して共通理解を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	難しい面もあるが、今後、検討していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急時対応マニュアル等はほぼ策定されているが、一部未策定のものがあり、今後順次作成していく。また、保護者への周知については、今後取り組んでいく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、避難訓練や通報訓練等を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			今年度、正職員及びパート職員を対象とした事業所内研修を実施した。また、今年度の埼玉県障害者虐待防止・権利擁護研修の受講修了事業所となっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	/	/	/	現時点では、対象児はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食物アレルギーの有無の確認は、契約時に行っている。その際、保護者から書面により健康情報提供書の提出してもらっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。

以下余白